学校名 設置認可年月日 校長名

所在地

職業実践専門課程等の基本情報について

	nn w 11	1:	977/3/18		長舩	圭二	〒 (住所) (電話)	700-0842 岡山県岡山市北區	区船頭町			
中国デザイン専	門字校						(電話)	000 005 0701				
設置者名		設立	認可年月	日	代表	表者名		086-225-0791		所在地		
学校法人第一平	田学園		977/3/18		平田	眞一	〒 (住所)	700-0842 岡山県岡山市北區	区船頭町			
分野		認定課程名			認定学科	名	(電話)	086-225-0791 門士認定年度	高	」 度専門士認定年	· 度 職業実践専	厚門課程認定 年
服飾·家政		6 飾専門課程	₽		ププロデュ			和 3(2021)年度		-		-
学科の目的	化の向上に										人物の育成を目的とし の実習やインターンシ	
学科の特徴(主な 教育内容、取得可 能な資格 等)	資格はファ							でなく学外での現地実術検定、色彩士検定			入れて実践力を養成し	ている。取得可能
修業年限	昼夜		子に必要 単位 単位	な総授業時数 ī数	数又は総	講義	į.	演習		実習	実験	実技
2	昼間	※単位時間、 かに記入	単位いずれ	83 単	単位時間		単位時間単位	単位時間 74 単位	1	単位時間 11 単位	単位時間単位	単位時間
生徒総定員		実員(A)	留学生	数(生徒実員の内				中退率		単位	甲亚	単位
20 人		A		0 /		0		25 %				
20 🗡	●卒業者		:	0 /	0	U	»	25 %				
	■就職希	望者数(D)	:		0		Ž	_ _				
	■就職者	·数(E) :職者数(F)	:_		0		수	_				
	■記憶薬				0		%	_				
	■就職者	に占める地方	元就職者の	割合 (F/E)				_				
	■ 众 坐 妻	に占める就職	*孝の割今	(E/C)	0		%	_				
	■十未日	一口のんの水根	11 (기리) 다	(L/ U)	0		%					
就職等の状況	■進学者				0		人	_				
130498 43 02 07 120	■その他											
	(令和5年	度)卒業生	なし ※卒	業年次生が	中退したが	ため(令和4年	F度)卒業	Ł				
								-				
	(令和	4 4	年度卒業者(に関する令和	16年5月1	日時点の情報)					
	■主な就	職先、業界等	等									
	(令和4年度											
	アパレル:	企業の企画	職、アパレ	<i>、</i> ルショップで	での販売期	睵						
	■民間の	1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1	から第三	老 拉伍·				////				
第二老による		評価機関等 は、例えば以下						無				
第三者による 学校評価	※有の場合	1、例えば以下						無	評価結果	を掲載した		
	※有の場合					受審年月:		無		を掲載した ージURL		
学校評価	※有の場合	1、例えば以下				受審年月:		無				
学校評価 当該学科の ホームページ	※有の場合	1、例えば以下	について任う	意記載	shioncreat			無				
学校評価 当該学科の	※有の場合	:、例えば以下 評価団体:	について任う	意記載	hioncreat			無				
学校評価 当該学科の ホームページ	※有の場合 https://w	:、例えば以下 評価団体:	について任う ac.jp/depa	意記載	hioncreat			無				
学校評価 当該学科の ホームページ	※有の場合 https://w	i、例えば以下 評価団体: www.cdc-de.a	について任う ac.jp/depa	意記載	hioncreat			無			0 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	※有の場合 https://w	京、例えば以下 評価団体: www.cdc-de. 立時間による。 総授業時数	について任う ac.jp/depa 算定)	意記載 artment/fasi		ive/	時数	無				
学校評価 当該学科の ホームページ	※有の場合 https://w	評価団体: 評価団体: www.cdc-de.s 立時間による 総授業時数	について任 ac.jp/depa 算定) うち企業等	意記載 artment/fasi と連携した9	実験・実習	ive/ ・実技の授業	時数	無			単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	※有の場合 https://w	京、例えば以下 評価団体: www.cdc-de.a 立時間による: 総授業時数	について任 ac.jp/depa 算定) うち企業等 うち企業等	意記載 artment/fasl と連携した9 と連携した7	実験・実習	ive/ ・実技の授業	時数	無			単位時間単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	※有の場合 https://w	京、例えば以下 評価団体: www.cdc-de.a 立時間による: 総授業時数	について任 ac.jp/depa 算定) うち企業等	意記載 artment/fasl と連携した9 と連携した7	実験・実習	ive/ ・実技の授業	時数	無			単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	※有の場合 https://w	京、例えば以下 評価団体: www.cdc-de.a 立時間による: 総授業時数	について任知 ac.jp/depa 算定) うち企業等 うち必修授	意記載 artment/fasl と連携した3 と連携した3 業時数 うち企業等と	実験・実習 寅習の授業 と連携した	ive/ ・実技の授業 時数 必修の実験・:	実習・実技				単位時間単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	※有の場合 https://w	京、例えば以下 評価団体: www.cdc-de.a 立時間による: 総授業時数	について任知 ac.jp/depa 算定) うち企業等 うち必修授	意記載 artment/fasl と連携した3 と連携した3 業時数 うち企業等と	実験・実習 寅習の授業 と連携した	ive/ ・実技の授業 時数	実習・実技				単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL	※有の場合 https://w (A:単位	京、例えば以下 評価団体: www.cdc-de.a 立時間による: 総授業時数	について任 ac.jp/depa 算定) うち企業等 うち企業等 うち必修授	e 記載 artment/fasi と連携した3 と連携した3 素時数 うち企業等と うち企業等と	実験・実習寅習の授業と連携したと連携した	ive/ ・実技の授業 時数 必修の実験・:	実習・実技 授業時数				単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL	※有の場合 https://w (A:単位	京、例えば以下 評価団体: www.cdc-de.a 立時間による: 総授業時数	について任 ac.jp/depa 算定) うち企業等 うち企業等 うち必修授	e 記載 artment/fasi と連携した3 と連携した3 素時数 うち企業等と うち企業等と	実験・実習寅習の授業と連携したと連携した	・実技の授業 時数 必修の実験・2 必修の演習の	実習・実技 授業時数				単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等と連携機しした況へのよいである。 までは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	※有の場合 https://w (A:単位	r、例えば以下 評価団体: www.cdc-de.d 立時間による。 総授業時数	ac.jp/depa ppc) うち企業等 うち必修授 (うち企業	e 記載 artment/fasi と連携した3 と連携した3 素時数 うち企業等と うち企業等と	実験・実習寅習の授業と連携したと連携した	・実技の授業 時数 必修の実験・2 必修の演習の	実習・実技 授業時数				単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 業等と連携した 習等の実施状況	※有の場合 https://w (A:単位	京、例えば以下 評価団体: www.cdc-de.de.de.de.de.de.de.de.de.de.de.de.de.d	ac.jp/depa ppc) うち企業等 うち必修授 (うち企業	e 記載 artment/fasi と連携した3 と連携した3 素時数 うち企業等と うち企業等と	実験・実習寅習の授業と連携したと連携した	・実技の授業 時数 必修の実験・2 必修の演習の	実習・実技 授業時数				単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等をと連携しした況へる。 A、Bいずれか	※有の場合 https://w (A:単位	な例えば以下 評価団体: www.cdc-de.a 立時間による。 総授業時数 立数による第二	ac.jp/depa ppc) うち企業等 うち必修授 (うち企業 定)	e 記載 Artment/fasi と連携した3 と連携した3 楽時数 うち企業等と 等と連携した	実験・実習 寅習の授業 と連携した と連携した	・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の ンシップの授	実習・実持 授業時数 業時数)				単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等と連携機しした況かられた。 ストラン・ファイン・ファイン・ファイン・ストラン・ストラン・ストラン・ストラン・ストラン・ストラン・ストラン・ストラ	※有の場合 https://w (A:単位	京、例えば以下 評価団体: www.cdc-de.de.de.de.de.de.de.de.de.de.de.de.de.d	について任知 ac.jp/depa 算定) うち企業等 うち必修授 (うち企業 定) うち企業等	意記載 artment/fasi と連携した3 実時数 うち企業等と うち企業等と 等と連携した と連携した と連携した と連携した と連携した	実験・実習 実習の授業 と連携した と連携した たインター	・実技の授業 時数 必修の実験・: 必修の演習の ンシップの授	実習・実持 授業時数 業時数)				単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等と連携機しした況かられた。 ストラン・ファイン・ファイン・ファイン・ストラン・ストラン・ストラン・ストラン・ストラン・ストラン・ストラン・ストラ	※有の場合 https://w (A:単位	京、例えば以下 評価団体: www.cdc-de.de.de.de.de.de.de.de.de.de.de.de.de.d	について任知 ac.jp/depa 算定) うち企業等 うち必修授 (うち企業 定) うち企業等	e 記載 Artment/fasi と連携した3 と連携した3 楽時数 うち企業等と 等と連携した	実験・実習 実習の授業 と連携した と連携した たインター	・実技の授業 時数 必修の実験・: 必修の演習の ンシップの授	実習・実持 授業時数 業時数)				単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等をと連携しした況へる。 A、Bいずれか	※有の場合 https://w (A:単位	京、例えば以下 評価団体: www.cdc-de.a 立時間による。 総授業時数 位数による算 総単位数	について任知 ac.jp/depa 算定) うち企業等 うち必修授 (うち企業 定) うち企業等	を記載と連携した多と連携した3きる企業等ときる企業等とうち企業等ときと連携した3と連携した3	実験・実習 実習の授業 と連携した と連携した たインター	・実技の授業 時数 必修の実験・: 必修の演習の ンシップの授	実習・実持 授業時数 業時数)				単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等と連携した況への実施がれか	※有の場合 https://w (A:単位	京、例えば以下 評価団体: www.cdc-de.a 立時間による。 総授業時数 位数による算 総単位数	について任が ac.jp/depa 算定) うち企業等 ううち必修授 (うち企業 定) うち企金業等 定) うち企金業等 を ううち企業等等 を を のうちを企業等等	意記載 と連携した3 と連携した3 業時数 うち企業等と うち企業等と 等と連携した3 と連携した3	実験・実習の授業 と連携した と連携した とはまりた となる とまります。 とまります。 とまります。 とまります。 とまりまする。 とまりまする。 とまりまする。 とまりまする。 とまりまする。 とまりまする。 とまりまする。 とまりまする。 とまりまする。 というまる。 というまる。 というまる。 というまる。 というまる。 というまる。 というまる。 というまる。 というまる。 というまる。 というまる。 というまる。 というま。 というまる。 というま。 というまる。 というまる。 というま。 というま。 というま。 というま。 というま。 というま。 というま。 という。 という。 という。 という。 という。 という。 という。 という	・実技の授業 時数 必修の実験・! 必修の演習の シシップの授	実習・実お 授業時数) 業時数) 数	伎の授業時数			単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 1 単位 1 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 全業等と連携にた況である。 と業の実施がれか	※有の場合 https://w (A:単位	京、例えば以下 評価団体: www.cdc-de.a 立時間による。 総授業時数 位数による算 総単位数	について任が ac.jp/depa 算定) うち企業等 ううち必修授 (うち企業 定) うち企業等様 に定) うち企業等様	意記載 と連携した3 と連携した3 業時数 うち企業等と ・ 連携した3 とと連携したな なうち企業等と と連携した3 とと連携した3	実験・実習の授業 と連携した と連携した にインター 実験・実習の単位 と連携した	・実技の授業 時数 必修の実験・ ・ ・ 実技の単位 数 必修の実験・	実習・実打 授業時数) 業時数) 数 数	伎の授業時数			単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 1 単位 1 単位 1 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等と連携した況への実施がれか	※有の場合 https://w (A:単位	京、例えば以下 評価団体: www.cdc-de.a 立時間による。 総授業時数 位数による算 総単位数	について任: ac.jp/depa 算定) うち企業等 ううち必修授 (うち企業 定) うち企業等 を ううち必修修授	意記載 と連携した3 と連携した3 業時数 うち企業等と うち企業等と 連携した3 なと連携した なのうち企業等と さる。 なのうち企業等と とさる。 なのうち企業等と なのうち企業等と	実験・実習の授業と連携したとは、 と連携したとなるとでは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 と	・実技の授業 時数 必修の実験・ ・実技の単位 数 必修の実験・ ・実技の単位 数	実習・実打 授業時数) 業時数) 数 数 実習・実打	伎の授業時数			単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 1 単位 1 単位 1 単位 1 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等と連携機しした況へた況へのようにある。 名、Bいずれんかに	※有の場合 https://w (A:単位	京、例えば以下 評価団体: www.cdc-de.a 立時間による。 総授業時数 位数による算 総単位数	について任: ac.jp/depa 算定) うち企業等 ううち必修授 (うち企業 定) うち企業等 を ううち必修修授	意記載 と連携した3 と連携した3 業時数 うち企業等と うち企業等と 連携した3 なと連携した なのうち企業等と さる。 なのうち企業等と とさる。 なのうち企業等と なのうち企業等と	実験・実習の授業と連携したとは、 と連携したとなるとでは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 と	・実技の授業 時数 必修の実験・ ・ ・ 実技の単位 数 必修の実験・	実習・実打 授業時数) 業時数) 数 数 実習・実打	伎の授業時数			単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 1 単位 1 単位 1 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等をと連携施しした況へた況へのいたれかれた。	※有の場合 https://w (A:単位	京、例えば以下 評価団体: www.cdc-de.a 立時間による。 総授業時数 位数による算 総単位数	について任: ac.jp/depa 算定) うち企業等 ううち必修授 (うち企業 定) うち企業等 を ううち必修修授	意記載 と連携した3 と連携した3 業時数 うち企業等と うち企業等と 連携した3 なと連携した なのうち企業等と さる。 なのうち企業等と とさる。 なのうち企業等と なのうち企業等と	実験・実習の授業と連携したとは、 と連携したとなるとでは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 と	・実技の授業 時数 必修の実験・ ・実技の単位 数 必修の実験・ ・実技の単位 数	実習・実打 授業時数) 業時数) 数 数 実習・実打	伎の授業時数			単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 1 単位 1 単位 1 単位 1 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等と連携機しした況かられた。 ストラン・ファイン・ファイン・ファイン・ストラン・ストラン・ストラン・ストラン・ストラン・ストラン・ストラン・ストラ	※有の場合 https://w (A:単位	s、例えば以下 評価団体: www.cdc-de.d 立時間による 総授業時数 立数による第二 総単位数	について任: ac.jp/depa 算定) うち企業等 ううち企業等 定) うち企業等 定) うち企業等 に) うち企業等等 () () () () () () () () () ()	意記載 と連携した3 と連携した3 業時数 うち企業等と ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	実験・実習 演習の授業 と連携した と連携した たインター 実験・実習位 と連携した と連携した と連携した と連携した と連携した	・実技の授業 ・実技の授業・時数 ・必修の実験・・ ・実技の単位・数 ・実技の単位・ 数 ・変修の演習の ・ないがのである。	実習・実打 授業時数) 業時数) 数 数 実習・実打	伎の授業時数			単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 1 単位 1 単位 1 単位 1 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等をと連携しした況へる。 A、Bいずれか	※有の場合 https://w (A:単位	な、例えば以下 評価団体: www.cdc-de.a 立時間による 総授業時数 総製位数	について任分 ac.jp/depa 算定) うち企業等 行うち企業等を 定) うち企業等を 定) うちな企業等を でううちを企業等等 でううちを企業等等 でううちを企業を でうちを企業を できるを必修り	意記載 artment/fasl と連携した3 業時数 うち企業等と 連携した3 等と連携した3 うち企業等と と連携した3 うち企業等と を連携した3 を変勢と を連携した3	実験・実習 実験・実習の授業 と連携したととは、 とをインター 実験・実質の単位 と連携したたく	・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の シシップの授 ・実技の単位 数 必修の演習の シシップの単	実習・実打 授業時数) 数 数 実習 数 位数)	支の授業時数	ホームベ	ÿURL	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 1 単位 単位 75 単位 1 単位 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等と連携した況への実施がれか	※有の場合 https://w (A:単位	な、例えば以下 評価団体: www.cdc-de 立時間による記 総授業時数 でのの を担当業年 でのの を を で で のの を のの を のの を のの を のの のの のの のの のの ののの ののの ののの のののの のののののの	について任分 (constant) (constant) (意記載 と連携した3 と連携した3 業時数 うち企業等と ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	実験・実習を 実験・実習の授業 と連携したととは たインター 実験での単したととは とと連携したととでである。	・実技の授業 ・実技の授業 ・実技の受験・・ ・変をの演習の・ ・実技の単位・ 数 ・実技の単位・ 数 ・変をの演習の・ がある。 ・変をのでである。 ・変をのでである。 ・変をのでである。 ・変をのできる。 ・変ををできる。 ・変ををできる。 ・変ををできる。 ・ ・変ををできる。 ・変ををできる。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実習・実打 授業時数) 数 数 実習 数 位数)	伎の授業時数	ホームベ	ÿURL	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 1 単位 1 単位 1 単位 1 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等をと連携しした況へる。 A、Bいずれか	※有の場合 https://w (A:単位	京、例えば以下 評価団体: www.cdc-de.a 立時間による 総授業時数 位数による 総単位数 であります。	について任分 (constant) (constant) (意記載 と連携した3字と連携した3字を企業等と と連携した5字と連携した5字と連携した5字と連携した7字をと連携した7字をと連携した7字でを発展した5字を発展した5字を2字を2字を2字を2字を2字を2字を2字を2字を2字を2字を2字を2字を2字	実験・実習を 実験・実習の授業 と連携したととは たインター 実験での単したととは とと連携したととでである。	・実技の授業 ・実技の授業 ・実技の受験・・ ・変をの演習の・ ・実技の単位・ 数 ・実技の単位・ 数 ・変をの演習の・ がある。 ・変をのでである。 ・変をのでである。 ・変をのでである。 ・変をのできる。 ・変ををできる。 ・変ををできる。 ・変ををできる。 ・ ・変ををできる。 ・変ををできる。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実習・実打 授業時数) 数 数 実習 数 位数)	支の授業時数	ホームベ	ÿURL	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 1 単位 単位 75 単位 1 単位 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等と連携機しした況かられた。 ストラン・ファイン・ファイン・ファイン・ストラン・ストラン・ストラン・ストラン・ストラン・ストラン・ストラン・ストラ	※有の場合 https://w (A:単位	な、例えば以下 評価団体: www.cdc-de.a な時間による 総授業時数 総単位数 第4世代数 での修ととなる。 での修ととなる。	について任分 なこ、jp/depa 算定) うち企企業等接受 「こうううう」 できる企必をを企めを発する。 できるでは、できるできない。これでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないできないでは、できないでは、できないできないでは、できないできないでは、できないでは、できないできないでは、できないできないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、これでは、できないでは、これでは、これでは、できないでは、できないでは、これでは、これでは、できないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	意記載 artment/fasi と連携した3 楽時数 うち企業等と き連携したが うち企業等と と連携した3 等と連携した3 等と連携した3 等と連携したが とと連携したが とを変勢と とを変勢と とを変勢と とを変勢した 程徳野したが をいる。	実験・実習を 実験・実習の授業 と連携したととは たインター 実験での単したととは とと連携したととでである。	・実技の授業 ・実技の授業 ・実技の受験・・ ・変をの演習の・ ・実技の単位・ 数 ・実技の単位・ 数 ・変をの演習の・ がある。 ・変をのでである。 ・変をのでである。 ・変をのでである。 ・変をのできる。 ・変ををできる。 ・変ををできる。 ・変ををできる。 ・ ・変ををできる。 ・変ををできる。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実習・実打 授業時数) 数 数 実習・実打 単位数 (専修 ⁴	女の授業時数 女の単位数 学校設置基準第41条第	ホームペ	ÿURL	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 1 単位 1 単位 1 単位 1 単位 1 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等をと連携しした況へる。 A、Bいずれか	※有の場合 https://w (A:単位	な、例えば以下 評価団体: www.cdc-de 立時間による記 総授業時数 でのの を担当業年 でのの を を で で のの を のの を のの を のの を のの のの のの のの のの ののの ののの ののの のののの のののののの	について任分 なこ、jp/depa 算定) うち企企業等を授 「こうううう」 できる企必をを企めを発する。 できるでは、できるできない。これでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないできないでは、できないでは、できないできないでは、できないできないでは、できないでは、できないできないでは、できないできないでは、できないでは、できないでは、できないではないでは、できないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	意記載 artment/fasi と連携した3 楽時数 うち企業等と き連携したが うち企業等と と連携した3 等と連携した3 等と連携した3 等と連携したが とと連携したが とを変勢と とを変勢と とを変勢と とを変勢した 程徳野したが をいる。	実験・実習を 実験・実習の授業 と連携したととは たインター 実験での単したととは とと連携したととでである。	・実技の授業 ・実技の授業 ・実技の受験・・ ・変をの演習の・ ・実技の単位・ 数 ・実技の単位・ 数 ・変をの演習の・ がある。 ・変をのでである。 ・変をのでである。 ・変をのでである。 ・変をのできる。 ・変ををできる。 ・変ををできる。 ・変ををできる。 ・ ・変ををできる。 ・変ををできる。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実習・実打 授業時数) 数 数 実習・実打 単位数 (専修 ⁴	支の授業時数	ホームペ	ÿURL	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 1 単位 単位 75 単位 1 単位 単位	
学校評価 当該学科のボージ URL 業等等の実にずりした況か に記入)	※有の場合 https://w (A:単位 (B:単位	な、例えば以下 評価団体: www.cdc-de.a な時間による 総授業時数 総単位数 第4世代数 での修ととなる。 での修ととなる。	について任分 なこ、jp/depa 算定 うち企業業等授 (うちを企業等等授 (うちを企業等等受 うううう (うちを企めを必要を発 である。 (うちを企めを必要を発 である。 (うちを企めを必要を発 である。 (うちをの数とるを必めを発しるを必める。 である。 (うちをの数とるを必める。 (うちをのなかなかなかなかなかなかなかなかなかなかなかなかなかなかなかなかなかなかなか	意記載 artment/fasi と連携した3 実時数 うち企業等と うち企業等と 連携した3 なと連携した3 なと連携した3 なと連携した3 など連携した3 など連携した3 などを修了した3 をときしたものがある。 をできるできる。 をできる。 をできるる。 をできる。 をできるる。 をできるる。 をできる。 をできるる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできるる。	実験・実習を 実験・実習の授業 と連携したととは たインター 実験での単したととは とと連携したととでである。	・実技の授業 ・実技の授業 ・実技の受験・・ ・変をの演習の・ ・実技の単位・ 数 ・実技の単位・ 数 ・変をの演習の・ がある。 ・変をのでである。 ・変をのでである。 ・変をのでである。 ・変をのできる。 ・変ををできる。 ・変ををできる。 ・変ををできる。 ・ ・変ををできる。 ・変ををできる。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実習・実打 授業時数) 数 数 実習・実打 単位数 (専修4 (専修4	女の授業時数 女の単位数 学校設置基準第41条第	ホームペ 新項第1号)	VURL	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 1 単位 1 単位 1 単位 1 単位 1 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等等と連集施・おいた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	※有の場合 https://w (A:単位 (B:単位	な、例えば以下 評価団体: www.cdc-de 立時間による 総授業時数 の修上よる 第4世代数 でおります。 でおります。 では、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、この	について任分 なこ、jp/depa 算定) うちちを企産業等接受 (うちちな企産を必修 でであると、 でであると、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	意記載 artment/fasi と連携した理携した理携した理携した理携した理構した理構した理構した理構した理構した理構した理構した理構した理構した理構	実験・実習を 実験・実習の授業 と連携したととは たインター 実験での単したととは とと連携したととでである。	・実技の授業 ・実技の授業 ・実技の受験・・ ・変をの演習の・ ・実技の単位・ 数 ・実技の単位・ 数 ・変をの演習の・ がある。 ・変をのでである。 ・変をのでである。 ・変をのでである。 ・変をのできる。 ・変ををできる。 ・変ををできる。 ・変ををできる。 ・ ・変ををできる。 ・変ををできる。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実習・実技 授業時数) 数 数 実習・実技 単位数) (専修 ⁴ (専修 ⁴	女の授業時数 女の単位数 学校設置基準第41条第	ホームペ 新項第2号) 新項第3号)	JURL	单位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 1 単位 1 単位 単位 3 人	
学校評価 当該学科のホージ URL 業等等のと連集施がした況か (A、に記入)	※有の場合 https://w (A:単位 (B:単位	a、例えば以下 評価団体: www.cdc-de.a 立時間による。 総授業時位数 ② 第年担当業な ② 第年担当業な ② 第年担当業な ② 第年担当業な ② 第年担当業な ② 第年担当業な ② 第年担当業な ② 第年担当業な ② 第年の記	について任分 なこ、jp/depa 算定) うちちを企産業等接受 (うちちな企産を必修 でであると、 でであると、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	意記載 artment/fasi と連携した理携した理携した理携した理携した理構した理構した理構した理構した理構した理構した理構した理構した理構した理構	実験・実習を 実験・実習の授業 と連携したととは たインター 実験での単したととは とと連携したととでである。	・実技の授業 ・実技の授業 ・実技の受験・・ ・変をの演習の・ ・実技の単位・ 数 ・実技の単位・ 数 ・変をの演習の・ がある。 ・変をのでである。 ・変をのでである。 ・変をのでである。 ・変をのできる。 ・変ををできる。 ・変ををできる。 ・変ををできる。 ・ ・変ををできる。 ・変ををできる。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実習・実打 授業時数) 数 数 事単位数 (専修等 (専修等		ホームペ 新項第1号) 新項第2号) 新項第4号)	JURL	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	
学校評価 当該学科のホームページ URL 実等等の表別では、 は、 では、 では、 ののに、 では、 ののに、 ののに、 ののに、 ののに、 ののに、 ののに、 ののに、 のの	※有の場合 https://w (A:単位 (B:単位	a、例えばは がww.cdc-de. 立時間は ににより を持援業時 が数ににより を持援業時 が数には位数 のの修とと 士 等は のの修とと 士 等すののである。 でもののである。 でものでものである。 でものである。 でものである。 でものである。 でものでものである。 でものでものでものでものである。 でものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでもので	について任分 なこ、jp/depa 算定) うちちを企産業等接受 (うちちな企産を必修 でであると、 でであると、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	意記載 artment/fasi と連携した理携した理携した理携した理携した理構した理構した理構した理構した理構した理構した理構した理構した理構した理構	実験・実習を 実験・実習の授業 と連携したととは たインター 実験での単したととは とと連携したととでである。	・実技の授業 ・実技の授業 ・実技の受験・・ ・変をの演習の・ ・実技の単位・ 数 ・実技の単位・ 数 ・変をの演習の・ がある。 ・変をのでである。 ・変をのでである。 ・変をのでである。 ・変をのできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をでをできる。 ・変をできる。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実習・実打 授業時数) 数 数 事単位数 (専修等 (専修等	女の授業時数 女の単位数 学校設置基準第41条第 学校設置基準第41条第	ホームペ 新項第1号) 新項第2号) 新項第4号)	JURL	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 1 単位 単位 3 人 0 人 0 人 0 人	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等等のいた。 と連集施状れか に記入) な員員の属性(で記)	※有の場合 https://w (A:単位 (B:単位	a、例えば以下 評価団体: www.cdc-de.a 立時間による。 総授業時位数 ② 第年担当業な ② 第年担当業な ② 第年担当業な ② 第年担当業な ② 第年担当業な ② 第年担当業な ② 第年担当業な ② 第年担当業な ② 第年の記	について任分 なこ、jp/depa 算定) うちちを企産業等接受 (うちちな企産を必修 でであると、 でであると、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	意記載 artment/fasi と連携した理携した理携した理携した理携した理構した理構した理構した理構した理構した理構した理構した理構した理構した理構	実験・実習を 実験・実習の授業 と連携したととは たインター 実験での単したととは とと連携したととでである。	・実技の授業 ・実技の授業 ・実技の受験・・ ・変をの演習の・ ・実技の単位・ 数 ・実技の単位・ 数 ・変をの演習の・ がある。 ・変をのでである。 ・変をのでである。 ・変をのでである。 ・変をのできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をでをできる。 ・変をできる。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実習・実打 授業時数) 数 数 事単位数 (専修等 (専修等		ホームペ 新項第1号) 新項第2号) 新項第4号)	JURL	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等等のいた。 と連集施状れか に記入) な員員の属性(で記)	※有の場合 https://w (A:単位 (B:単位	a、例えばは がww.cdc-de. 立時間は ににより を持援業時 が数ににより を持援業時 が数には位数 のの修とと 士 等は のの修とと 士 等すののである。 でもののである。 でものでものである。 でものである。 でものである。 でものである。 でものでものである。 でものでものでものでものである。 でものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでもので	について任分 なこ、jp/depa 算定) うちちを企産業等接受 (うちちな企産を必修 でであると、 でであると、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	意記載 artment/fasi と連携した理携した理携した理携した理携した理構した理構した理構した理構した理構した理構した理構した理構した理構した理構	実験・実習を 実験・実習の授業 と連携したととは たインター 実験での単したととは とと連携したととでである。	・実技の授業 ・実技の授業 ・実技の受験・・ ・変をの演習の・ ・実技の単位・ 数 ・実技の単位・ 数 ・変をの演習の・ がある。 ・変をのでである。 ・変をのでである。 ・変をのでである。 ・変をのできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をでをできる。 ・変をできる。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実習・実打 授業時数) 数 数 事単位数 (専修等 (専修等		ホームペ 新項第1号) 新項第2号) 新項第4号)	JURL	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 1 単位 単位 3 人 0 人 0 人 0 人	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等等のいた。 と連集施状れか に記入) な員員の属性(で記)	※有の場合 https://w (A:単位 (B:単位	は、例えば以下 評価団体: www.cdc-de.i による による を	について任分の (こう) (こう) (こう) (こう) (こう) (こう) (こう) (こう)	意記載 と連携したほう と連携したます。 を連携したおり を企業等とと連携したない を企業等したない を企連携したない をと連携したない をと連携したない をと連携したない をときない をときない をときない を表示を を表示を を表示を を表示を を表示を を表示を を表示を を表示	実験・実習学・実質と連携したたととなるとは、 大きな では はんしん アイン 大きな では ボーン 学で とって でも がって と かん かい はん かい	・実技の授業・時数 必修の実験・・ ・実技の授業・ ・実技の授業・ ・変技の授業・ ・変技の要素である。 ・実技の単位・ 数 必修の実験・・ 変数・ ・変数・ ・変数・ ・変数・ ・変数・ ・変数・ ・変数・ ・変	実習・実打 授業時数) 数 数 事単位数) (専修年 (専修年 (専修年	支の授業時数	ホームペ 51項第1号) 51項第2号) 51項第4号)	JURL	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 1 単位 1 単位 1 単位 1 単位 0 人 0 人 0 人 0 人	
学校評価 当該学科のホームページ URL 実等等の表別では、 は、 では、 では、 ののに、 では、 ののに、 ののに、 ののに、 ののに、 ののに、 ののに、 ののに、 のの	※有の場合 https://w (A:単位 (B:単位	a、例えば以下 評価団体: www.cdc-de. 立時間による 総授業時 のによる 総授業時 ののによる ののでは、 ののでは	について な。jp/depa 算 うううう うううう うううう うううう うううう ()定 うううう うううう ()定 うううう ()定 うううう ()定 うううう ()定 うううう ()で な企 必 の な の の な の な の な の な の な の な の な の な の な の な の の な の の な の の な の な の な の な の な の な の な の な の な の の な の る の の の の の の の の の の の の の	意記載 と連携したほう と連携したます。 を連携したおり を企業等とと連携したない を企業等したない を企連携したない をと連携したない をと連携したない をと連携したない をときない をときない をときない を表示を を表示を を表示を を表示を を表示を を表示を を表示を を表示	実験・の 実験・の と連携した たて 実験 習 上き 上され と とき イン・の 実質 単 しした たって という かい まま しょう かい まま かい ままま まま ま	・実技の授業・時数 必修の実験・・ ・実技の授業・ ・実技の授業・ ・変技の授業・ ・変技の要素である。 ・実技の単位・ 数 必修の実験・・ 変数・ ・変数・ ・変数・ ・変数・ ・変数・ ・変数・ ・変数・ ・変	実習・実打 授業時数) 数 数 事単位数) (専修年 (専修年 (専修年		ホームペ 51項第1号) 51項第2号) 51項第4号)	JURL	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 1 単位 単位 3 人 0 人 0 人 0 人	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課 程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本

職業実践専門課程の基本方針である、「高等学校における教育の基礎の上に、深く専門的な程度において専修学校の教 育を施すにふさわしい授業科目を開設しなければならない。」を基に教育課程を編成する。

授業内容は、企業等の要請を十分に活かしつつ職業に必要な実践的かつ専門的な能力を学生一人一人が身につけるた め、学内での演習実習に加え、アパレル関連企業等と多く関わる内容とする。主な就職先であるアパレル業界における人 材の専門性に関する動向や、地域の産業振興の方向性、新産業の成長に伴い新たに必要となる実務に関する知識、技 術、技能などを把握し教育内容へ落とし込むため、教育編成委員や実習先企業等へのヒアリングやアンケート等を定期的 に実施し教育課程の改善を行う

- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会は校長の下に組織され、委員会を経て当校のカリキュラム編成及び授業内容に対する意見を検討す

委員会で出た意見はカリキュラム会議にて審議され、校長の許可を経て審議された内容を授業カリキュラムに反映する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

夕 盐	다 문	7和/平4。 上田	
名 前	所 属	任期	種別
岡野 英美	特定非営利活動法人 ENNOVA OKAYAMA	令和4年4月1日~令和6年3 月31日、(2年) 令和6年4月1日~令和8年3 月31日(2年)	1
守屋 謙太郎	株式会社ケイズ・ユニット 代表取締役	令和4年4月1日~令和6年3 月31日、(2年) 令和6年4月1日~令和8年3 月31日(2年)	3
藤森 英樹	Pattern Studio SYNERGY 代表	令和4年4月1日~令和6年3 月31日、(2年) 令和6年4月1日~令和8年3 月31日(2年)	3
丹羽 雅人	株式会社丹羽建築設計事務所 代表取締役	令和4年4月1日~令和6年3 月31日、(2年) 令和6年4月1日~令和8年3 月31日(2年)	3
藤原 敏嗣	famo.DESIGN STUDIO 代表	令和4年4月1日~令和6年3 月31日、(2年) 令和6年4月1日~令和8年3 月31日(2年)	3
森 大起	VICICA 代表	令和6年4月1日~令和8年3 月31日(2年)	3
滝澤 宏行	ビジネスセンター岡山株式会社 事業本部副本部長	令和6年4月1日~令和8年3 月31日(2年)	3
長舩 圭二	中国デザイン専門学校 校長	令和4年4月1日~令和6年3 月31日、(2年) 令和6年4月1日~令和8年3 月31日(2年)	_
宮本 真由美	中国デザイン専門学校 服飾専門課程 科長	令和6年4月1日~令和8年3 月31日(2年)	_
宮脇 成也	中国デザイン専門学校 ビジュアルデザイン科 ITデジタルクリエイター科 科長	令和6年4月1日~令和8年3 月31日(2年)	_
秋岡 昌彦	中国デザイン専門学校 インテリア・プロダクト 科 科長	令和4年4月1日~令和6年3 月31日、(2年) 令和6年4月1日~令和8年3 月31日(2年)	_
花田 洋通	中国デザイン専門学校 教務課長	令和4年4月1日~令和6年3 月31日、(2年) 令和6年4月1日~令和8年3 月31日(2年)	_
平田 真代	中国デザイン専門学校 事務長	令和4年4月1日~令和6年3 月31日、(2年) 令和6年4月1日~令和8年3 月31日(2年)	_
	-		

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「-」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (6月、1月)

(開催日時(実績))

第2回 令和7年2月21日 13:30~15:00 第1回 令和7年6月5日 10:30~12:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

技術のデジタル化が進み、アパレル分野でもAIを使ったコーディネートやフィッティングが商業的に行われている。学校現場でも積極的にデジタル技術の習得を図ることが必要。

(活用)社会で利用されているデジタル技術の学習を授業に取り入れることは早急な実施が求められるため、ソフトウェアなど専用設備を導入し、カリキュラム改定を行うこととした。外部講師や企業の意見・情報を収集した上、導入する新設備を選定し、翌年度以降の授業へ展開することとした。またこれまで実施していた科目については、デジタル技術関連授業が増える替わりに減らす必要もあり、実施しない内容は企業からの意見も取り入れながら同時に精査を行いカリキュラム改定を行う。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等と本校の連携によるインターンシップや、本校独自の企業等より業務委託を受け授業内で取り組む制度「DETCH (デッチ)」を通じ、学生にデザイン・ファッション分野企業の現場及び業務を経験させ、学内授業では得ることが困難な実践的で幅広い見識と実社会への適応性を身につけさせることを目的とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

・ライフデザイン①②の授業内で実際の商業施設に出向きながらアパレル分野で活躍する企業連携講師の元、ショップ経営について必要となる実務を実習形式で学習する。学修成果は企業連携講師より校外での実習取り組み内容の報告を受け、授業全体の出席数および取り組み状況により授業担当教員が成績評価を行う。

・職業実習連携企業でのインターンシップを一定期間実施し、実際の現場を知ることで職業に必要とされる技術を身に付ける。インターンシップ実施内容は企業担当者により評価され、この評価を受け学内の科目担当教員が全体的な取り組み状況を含め総合的に成績評価を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	企業連携の方法	】 科 目 概 要	連携企	注 業 等	
	正未建物の方法	竹日帆女	连 拐 止	. 未 寸	
ライフデザイン①	の講師が一部の授業	チームワークの実施によりコミュニケーション能力を高める。学外実習では企業等と連携し、店舗企画や準備、宣伝、運営までの一環の流れを学ぶ。	セレンディップ		

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

関連分野における先進的な知識・技能等を修得するために「教職員研修規定」を定め、教職員の研修等に組織的・継続的に取り組む。研修は専攻分野における実務に関する知識、技術、技能を修得・向上するための研修と、授業及び学生に対する指導力等を修得・向上するための研修を主な内容とする。

年度始めに教職員全員が研修年間計画を作成提出する他、必要により所属長の命令によって研修を指示する場合も研修 費用は学校が一部補助し全体のレベルアップに努める。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 2025年SS展示会視察 連携企業等: 株式会社アンジェロ・ジャパン

期間: 2024年9月4日 対象: 教員

中京 各デザイナー陣による最新ファッションの知識を得ることでファッション販売に関する指導力の向上を図る

内容研修。

研修名: Maya 初級トレーニング 連携企業等: Tooトレーニングセンター

期間: 2024年9月27日 対象: 教員

内容
専門ソフトを使用し各種エフェクト・シミュレーション機能のセットアップ方法、レンダリングのための設定方

^{内谷} 法を習得する研修。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 専修学校新任教員研修 連携企業等: 岡山県専修学校各種学校振興会

期間: 2024年8月1日~8月3日、8月5日~7日 対象: 新採用教員

新採用教員を対象に、専修学校教員にとって必要な基礎的知識の習得を目的に、教職科目を中心とした

内容講義・演習を行う研修。

研修名: 教職員のキャリアデザインワークショップ 連携企業等:職業教育・キャリア教育財団

期間: 2024年7月21日~8月12日 対象: 教職員

内容 自らのキャリアパスを考え組織の中での一員としての将来設計を行うことで学校と教職員の成長を図る研

^{內吞} 修。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: Adobe Illustrator 導入者向けトレーニング 連携企業等: ボーンデジタル

期間: 2025年6月26日 対象: 教員

内容 Adobe Illustratorを使用した導入者向けトレーニングにより操作方法を身に付けることで、担当科目の指導

^今 カを強化する研修。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 体験学習 連携企業等: 職業教育・キャリア教育財団

期間: 2025年7月、8月 対象: 教職員

内容アクティブ・ラーニングを指導に取り入れる効果的手法を身に付ける研修

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

各専攻分野企業等から委員が参画した学校関係者評価委員を設置する。特に企業等との密接な連携による取り組みを重要と考え、学校評価を通じた組織的・継続的な教育活等の改善を基本方針とする。

2)「専修学校における学校評価ガイドライ ガイドラインの評価項目	ラ」の項目との対応 学校が設定する評価項目
(1)教育理念·目標	1-1 理念·目的·育成人材像は定められているか 1-2 学校の特色はなにか 1-3 学校の将来構想を抱いているか
(2)学校運営	2-4 運営方針は定められているか 2-5 事業計画は定められているか 2-5 事業計画は定められているか 2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか 2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか 2-8 意思決定システムは確立されているか 2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか
(3)教育活動	3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか3-11 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、達成することが可能なレベルとして、明確に定められているか3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか3-14 授業評価の実施・評価体制はあるか3-15 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を研究しているか3-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか
(4)学修成果	3-17 資格取得の指導体制はあるか 3-18 キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが 施されているか 4-19 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上か 図られているか 4-20 資格取得に関する目標を達成したか 4-21 退学率の低減に関する目標を達成したか
	4-22 卒業生・在校生は社会で活躍し、評価を得ているか 5-23 就職・進字指導に関する体制は整備され、有効に機能している。
(5)学生支援	か 5-24 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか 5-25 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか 5-26 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか 5-27 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか 5-28 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか 5-29 保護者と適切に連携しているか
(6)教育環境	6-31 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応出来るよう整備されているか 6-32 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか 6-33 防災に対する体制は整備されているか
(7)学生の受入れ募集	7-34 学生募集活動は適正に行われているか 7-35 就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍の教育成果は、学生募集に貢献したか 7-36 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか 7-37 学納金は妥当なものとなっているか
(8)財務	8-38 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか 8-39 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか 8-40 財務について会計監査が適正に行われているか 8-41 財務情報公開の体制整備はできているか

(9)法令等の遵守	9-42 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか 9-43 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか 9-44 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか 9-45 自己点検・自己評価結果の公開はしているか
(10)社会貢献・地域貢献	10-46 教育資源を活かした社会貢献 10-47 ボランティア活動の支援

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者者の評価結果や改善方策等の内、特に企業等から参画した委員の意見については、学科の「カリキュラムや授業等の作成・見直し等」「産学官連携によるインターンシップ、実習等」「教職員の研修等」の教育活動やその他「教育理念・目的・育な人材像」「学生支援」等、学校運営の改善等に活かせるよう意見を検討し、改善に取り組みでいる。

学生数を増やすため、デザインに関する関心が高まっている今、地域おこしブランディングと学校プログラムが関わる取り組みが役立つのではないかとの外部委員より意見があり、例年県や市など公的機関が主催するイベントと関わっているため、実施取組についてSNS等を利用し外部へ発信するなど宣伝力強化を行うこととした。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

	名 前	所 属	任期	種別
守屋	謙太郎	株式会社ケイズ・ユニット 代表取締役	31日(2年)	企業等委 員
藤森	英樹	Pattern Studio SYNERGY 代表	31日(2年)	企業等委 員
丹羽	雅人	株式会社丹羽建築設計事務所 代表取締役	31日(2年)	企業等委 員
藤原	敏嗣	famo.DESIGN STUDIO 代表	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	企業等委 員
近藤	和	中国デザイン専門学校 教育助成会 会長	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	PTA
藤若	典弘	有限会社ヴィジョンイメージファクトリー 代表 取締役	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

))

URL: https://www.cdc-de.ac.jp/info/release/公表時期: 2025年6月30日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に 関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の学生がどのようなカリキュラムを通じて知識・技術・技能を修得しているのか、また、質の高い教育プログラムを提供するために、学校としてどのような工夫・改善に取り組んでいるか等を具体的な教育情報を分かりやすく公表し、本校の特色ある教育活動を積極的に発信する。さらに、本校の基本的な教育組織等に関する情報のほか、教育情報の積極的な公表を通じて、本校教育の質の確保・向上を図る。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

(2) 専門字校における情報提供寺への取組[
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	●学校の教育・人材養成の目標及び教育指導計画、経営方針、特色●校長名、所在地、連絡先等●学校の沿革、歴史
(2)各学科等の教育	●入学者に関する受入れ方針及び入学者数、収容定員、在学学生数 ●カリキュラム(科目配当表(科目編成・授業時間数)、時間割、使用 する教材など授業方法及び内容、年間の授業計画) ●進級・卒業の要件等(成績評価基準、卒業・修了の認定基準等) ●学習の成果として取得を目指す資格、合格を目指す検定等 ●資格取得、検定試験合格等の実績 ●卒業者数、卒業後の進路(進学者数・主な進学先、就職者数・主な 就職先)
(3)教職員	●教職員数(職名別) ●教職員の組織、教員の専門性
(4)キャリア教育・実践的職業教育	●キャリア教育への取組状況●実習・実技等の取組状況●就職支援等への取組支援
(5)様々な教育活動・教育環境	●学校行事への取組状況 ●課外活動(部活動、サークル活動、ボランティア活動等)
(6)学生の生活支援	●学生支援への取組状況
(7)学生納付金・修学支援	●学生納付金の取扱い(金額、納入時期等)●活用できる経済的支援措置の内容等(奨学金、授業料減免等の案内等)
(8)学校の財務	●貸借対照表、収支計算書
(9)学校評価	●自己評価・学校関係者評価の結果 ●評価結果を踏まえた改善方策

))

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

URL:

(ホームページ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

https://www.cdc-de.ac.jp/info/release/ 2025年6月30日

公表時期: 2025年6月30日

授業科目等の概要

	(服飾専門課程 ショッププロデュース科) 分類											ı.e.		املا	-	
	必	分 選択必修	自由選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数		演	法実験・実習・実技		<u></u> 校		兼	企業等との連携
1	0			体育実習	各種スポーツ球技を行い、身体能力を高める。実習を通して他学科との交流を深める。	1 通 年	34	1			0		0		0	
2	0			情報デザイン 検定	社会で働きはじめる人に必要とされる、情報を「受け取り・伝える」能力を総合的に評価する試験である「情報デザイン試験」 に合格できる力を身に付ける。	1 前 期	17	1	0			0			0	
3			0	夏期集中講座	専門分野に特化した特別講座を短期間で実 施。履修により豊かな感性を身に着ける。	1 前 期	17	1	Δ	0		0			0	
4			0	冬期集中講座	専門分野に特化した特別講座を短期間で実 施。履修により豊かな感性を身に着ける。	1 後期	17	1	4	0		0			0	
5	0			ファッション 販売検定 I	ファッション販売能力検定3級取得および ファッション商品知識、販売知識などの基 礎用語を覚えるための講座。	1 前期	34	2	0			0		0		
6	0			ファッション 販売検定 II	ファッション販売能力検定4級取得および ファッション商品知識、販売知識などの基 礎用語を覚えるための講座。		17	1	0			0		0		
7	0			ファッション ビジネス検定 I	ファッションビジネス検定3級取得および アパレル業界の仕組み(川上〜川中〜川下 の産業形態)と基礎用語を覚えるための講 座。	*	34	2	0			0		0		
8	0			ファッション ビジネス検定 Ⅱ	ファッションビジネス検定4級取得およびアパレル業界の仕組み(川上〜川中〜川下の産業形態)と基礎用語を覚えるための講座。	 1%	17	1	0			0		0		
9	0			Web デザイン 基礎	Webサイトをデザインする際の知識・技術 を習得することを目的とする。	1 後期	51	3		0		0			0	
10	0			Web デザイン 入門	Webデザイン、Webサイトを制作する際に必要な知識・操作を学ぶ。	1 前 期	51	3		0		0			0	
11	0			PC技術 I	Illustrator・Photoshopの操作の基本を学び、デザイン制作の知識や操作方法を学ぶ。		34	2		0		0			0	
12	0			PC技術Ⅱ	PCソフトを使用して成果物を作成する技法 を学ぶ。進級制作におけるプレゼンテー ションボードを完成させる。		34	2		0		0			0	
13	0				販売能力やショップMDを目指す力、web ショップなどを運営していく知識を身につ ける。		34	2		0		0		0		

14	0		マテリアル	ファッションの元となる布地についての知識を養う。様々な素材がある中で、それぞれの素材の特性を知りデザインや用途に合った素材選びができるよう知識を身につける。	1 前	17	1		0		0		0		
15	0		アパレル縫製 I	ファッション販売業務やブランド企画に関わる基礎縫製を学習し、ミシン、縫製技術を身につける。	1 後期	17	1		0		0		0		
16		0	A 7 - 1 /	流行をキャッチしトータルコーディネイトできる目を養い、イメージしたものが表現できるようになるためにヘア・メイク・ネイルの基礎知識を学習。	1 1	51	3		0		0			0	
17		0	ヘア・メイ ク・ネイルⅡ	イメージしたものを表現するために、 ファッションの歴史、時代背景を振り返り、ヘア・メイクの基礎技術を習得する。	1 後期	51	3		0		0			0	
18		0	美容検定 I	イメージした作品に仕上げるために必要な メイクアップ、ネイルの基礎知識、技術を 習得する。		34	2		0		0			0	
19	0		色彩能力検定	ファッション色彩能力検定3級取得および 商品企画、商品デザインにて色彩に関わる 知識を身につける。		17	1	0			0		0		
20	0		VMDコーディ ネート演習 I	VMD計画能力の開発およびショップの開発 能力を身に着け、進級制作等と連動したオ リジナルショップの基礎を作る。		34	2		0		0	0	0		
21	0			ショップ販売と合わせたインターネット販売サイト運営知識を身につけ、専用アプリケーションを利用し、実践的に販売サイトを運営する。	 2 <u>%</u>	34	2		0		0		0		
22	0		スペースデザ イン入門	建築物の図面トレースし、図面からリビング・ダイニング・キッチンを中心に改築デザインを提案する方法を学習する。	1 後 期	34	2		0		0			0	
23	0		素材加工③	インテリア模型を制作し、インテリア・プロダクトデザインにおいてのスケールをもったモデル制作技術を習得する。		51	3		0		0			0	
24	0		インⅡ	Illustrator・Photoshopの操作の基本を学び、印刷物を作るための知識や操作方法を習得する。	期	34	2		0		0			0	
25		0	eスポーツ基 礎	eスポーツを通じて、課題発見能力 課題解決能力、チームマネジメントスキルを向上させる。	1 後期	34	2		0		0			0	
26		0	eスポーツ入 門	eスポーツを体験的に学び、さらにeスポーツにおけるロジカルシンキングや、チームマネージメントにふれる。	1 前 期	34	2		0		0			0	
27	0		ライフデザイ ン①	校内外での活動等を通して協調生や実践力を養い、自分と考えの違う他者と共同活動 を成功させるための技術・能力を習得す る。	 	119	1			0	0	0	0		0
28	0			学校全体、学科ごとの行事準備をチームで 取り組む。就職活動の準備を実施する。	1 後 期	34	1			0	0		0		
29	0		進級制作	進級制作ファッションショーに合わせたブランド企画展示、もしくはステージでのアパレルブランドショーを実習形式で学ぶ。		136	3			0	0		0		

30		0	海外デザイン 研究	海外研修に向け現地事情や文化を学びながら、研修中の行動計画を立てる。	2 前 期	17	1	0			0			0	
31	0		ビ ジ ネ ス マ ナ ー / イ ン ターンシップ	企業実習に向けて社会の仕組み、ルール、コミュニケーション方法等必要なマナーについてを学び、アパレル業界の企業形態、 実務、職種別技術を学ぶ。	2 前期	17	1	0			0		0		
32		0	夏期集中講座	専門分野に特化した特別講座を短期間で実施。履修により豊かな感性を身に着ける。	2 前 期	17	1	Δ	0		0			0	
33		0	冬期集中講座	専門分野に特化した特別講座を短期間で実施。履修により豊かな感性を身に着ける。	2 後期	17	1	Δ	0		0			0	
34	0		職業実習	学習する分野に直結した企業等でのイン ターンシップを実施。就職後に即戦力とな る対応力・実践力を身につける。		65	1			0	0	0	0		
35	0		ファッション 販売検定Ⅲ	ファッション販売能力検定2級取得および ファッション商品知識、販売知識などの基 礎用語を学習する。		34	2	0			0		0		
36	0		ファッション 販売検定Ⅳ	ファッション販売能力検定の受験対策を通 じてファッション商品販売の仕事に携わる 場合に必要な基本的な知識を身につける。		17	1	0			0		0		
37	0			ファッションビジネス検定3級取得および アパレル業界の仕組みと基礎用語を学習す る。		34	2	0			0		0		
38	0		ファッション ビジネス検定 Ⅳ	ファッションビジネス業界で必要な専門知識・技術、基礎レベルの商品開発を学び、ファッションビジネス能力検定2級ビジネス科目で60%以上の正答率を目指す。	144	17	1	0			0		0		
39	0			販売能力やショップMDを目指す力、webショップなどを運営していく知識を身につける。		34	2		0		0		0		
40	0		PC技術Ⅲ	Illustrator・Photoshopの操作の基本技術 を使い、デザイン制作を行う方法を学ぶ。	2 前期	34	2		0		0			0	
41	0		PC技術Ⅳ	Illustrator・Photoshopの操作の基本技術 を使い、応用的なデザイン制作を行う方法 を学ぶ。		34	2		0		0			0	
42	0		Web デザイン 応用	レスポンシブWebサイトの基本的な制作の 流れを把握した上で基本的なサイト構築を 行う。		51	3		0		0			0	
43	0		Web デザイン 実践	レスポンシブWebサイトの制作を通じて、 ユーザー中心設計に基づいたWebサイトの 作成方法・デザインを学習する。	2 後期	51	3		0		0			0	
44	0		インターネッ ト販売 II	インターネット販売サイトの企画書制作から仕入れ又は商品開発を学ぶ。企画書に基づき専用アプリケーションを使ったWEBサイトを開設、実践的に販売サイトを運営する。	2	34	2		0		0		0		
45		0	ヘア・メイ ク・ネイルⅢ	メイクアップの技術を身につける。アップ 用ウイッグを使用して編み込みを習得す る。ネイルアート作品を製作する。		51	3		0		0			0	

										1					
46		0	ヘア・メイ ク・ネイルⅣ	ファッションショーに向け自由な発想でイメージしたデザインを仕上げ、写真撮影を 行う。グループでイメージを立案する。		51	3		0		0			0	
47		0	美容検定Ⅱ	爪の構造、ネイルケア、皮膚の仕組み、顔の分析、標準のプロポーション、色彩などの基礎知識を学び、技術を習得する。		34	2		0		0			0	
48	0		アパレル縫製Ⅱ	工業用ミシン、アイロンなどの縫製に必要な機器を使用し、店舗での裾上げやリメイク商品などのオリジナル商品企画開発技術を高める。	Z	17	1		0		0		0		
49	0		素材加工応用	インテリア模型制作を通してイメージした 空間を短期間で組立てる方法を学ぶ。	2 前期	51	თ		0		0			0	
50	0		色彩能力検定	ファッション色彩能力検定2級取得および 商品企画、商品デザインにて色彩に関わる 知識を身につける。		17	1	0			0		0		
51	0		VMDコーディ ネート演習Ⅱ	VMDの応用企画、コーディネート企画を実施し卒業制作と連動した店舗づくりを行う。	2 後期	34	2		0		0	0	0		
52	0			llustrator・Photoshopの操作の基本から 応用を学び、印刷物を制作する。	2 後期	34	2		0		0		0		
53		0	動画クリエイ ションⅢ	自己紹介、他者紹介動画など様々な内容の 動画を作成する。また、諸処多様な動画作 成の機材に触れる。		51	3		0		0			0	
54		0	eスポーツ応 用	参加するゲームを分析し、さらにその分析 結果をもってチームでの話し合い ミー ティングまでを行う。	· 2 · 前 期	34	2		0		0			0	
55		0	eスポーツ実 践	参加するゲームを分析し、さらにその分析 結果をもってチームでの話し合い ミー ティングまでを行う。	2 後期	34	2		0		0			0	
56	0		ライフデザイ ン③	ブランドショー企画からプレゼンテーション実演までを計画する。ファッションショーを通して他学科との交流も深める。	2 前期	119	1			0	0	0	0		
57	0			後期の卒業制作展覧会に向けて事前準備を 実施する。ブランドショー企画を通しプレ ゼンテーション能力、グループディスカッ ション能力を高める。	1 4	34	1			0	0		0		
58	0		卒業制作	グループワークを通じてアパレルブランドの企画を行い、ファッションショーと連動したブランド企画展示・ステージでのアパレルブランドショーを実習形式で学ぶ。	1 4	136	3			0	0		0		
		合	計	58	} 科	目				107	単位	立 (単位	時間])

卒業要件及び履修方法	授業期間等	Ť
卒業要件: 課程修了には、総計83単位以上を習得しなければならない。	1 学年の学期区分	2 期
摩修方法 : 学科目を履修した場合に考査を行い、合格した者に対して単位を認定する。	1 学期の授業期間	17 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合 については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。